

◆「保険で良い歯科医療を」12.3 要請行動を実施しました

12月3日、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は厚労省、各党、議員への要請を行いました。

全国連絡会は、歯科診療報酬プラス改定、保険で良い歯科医療の実現を求める要請書、歯科医療費の総枠拡大を訴える資料、「00～14年度における概算医療費と薬剤費の推移」となどの資料を厚労省や議員に手渡し、歯科診療報酬のプラス改定を求めるとともに、歯科医療の現場の声を届け、要請しました。

＜厚生労働省＞

厚生労働省保険局医療課・小椋正之課長補佐、同保険課企画法令第二係・須賀敬志郎主査と懇談。



代表世話人の宇佐美宏保団連歯科代表らは、「要請内容にある窓口負担割合の軽減」、「保険のきく歯科治療範囲の拡大」、「国の歯科医療費の予算の増額」からなる3項目請願署名が現在23万筆寄せられたことにふれました。その上でこれだけの署名が集まったのはこの3つの項目こそ歯科医療従事者だけでなく国民の願いであることを指摘しました。あわせて歯科医療を重視することで医療費全体の抑制効果があることを紹介し、診療報酬のプラス改定等を求めました。対応した厚労省の担当者は「趣旨は十分理解している。前向きに財務省と折衝したい」と述べました。

＜自民党＞本部へ要請書を送付

石井みどり参院議員(比例)に要請、懇談



<民主党>

小宮山泰子衆院議員(比例・北関東)、大島九州男参院議員(比例)



<維新の党>

井坂信彦衆院議員(兵庫1区)



<共産党>

小池晃参院議員(比例)、堀内照文衆院議員(比例・近畿)



<社民党>

福島瑞穂参院議員(比例)※秘書

